

「ウィーン之音」バーゼンドルファー インペリアルで聴くシューベルト

佐伯周子

シューベルト没後200年 = 2028年へ向けて

ペーレンライター新シューベルト全集に拠る
ピアノソナタ全曲演奏会

全8回連続演奏会 第2回

Program

ピアノソナタ第20番イ長調 D959 「遺作」

ピアノソナタ第14番イ短調 D784

ピアノソナタ第2番ハ長調 D279 + D277A + D346(4楽章)

※当日、曲目が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

2023年

3月1日 水

Saiki Shuko

©宇都宮保

午後7時開演(午後6時30分開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール

チケット(自由席) **¥3,000** (学生券 ¥1,000)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3-6 / ☎045-682-2000

お問合せ

- 横浜みなとみらいホールチケットセンター Tel: 045-682-2000 (電話10:00~17:00 / 窓口11:00~19:00 / 不定休)
- 横浜みなとみらいホールチケットセンターWEB <http://minatomirai.pia.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 234047)
- ピアノミュージックジャパン/080-5528-3281

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム東京
ペーレンライター社(ドイツ・カッセル)
公益社団法人日本演奏連盟
洗足学園音楽大学
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

オーストリア文化フォーラム

JAPAN AUSTRIA
1994-2024

Japan
Federation
of
Musicians

PassMarket にて
電子チケットも
取り扱っております。



佐伯周子
YouTube チャンネル



Franz Peter Schubert

佐伯周子が2004年より
15年かけピアノソロ曲全てを演奏し
練り上げたシューベルト像。
今回は、没後200年=2028年に向けて
全8回でピアノソナタを取り上げる

ゲーテ歌曲「憧れ」D310「魔王」D328 に作曲中断された 第2番ハ長調 D279

ベーレンライター新シューベルト全集の中で最も驚かれた曲の1つがこのD279である。

D279/1(1815.09)→D279/2→D279/3→D309A(1815.10.16) と断定したからである。D309A はわずか6小節で放棄された。1815.10.18作曲が「憧れ」D310、なんと同じ日に2稿作曲された。"Nur wer die Sehnsucht kennt" はその後、D359, D481, D655(男声5重唱), D877/1(男女2重唱), D877/4とD310を1曲に数えて6曲も作曲する。生前出版されたのは「作品62」のD877/1 & D877/4の2曲だけだが、ゲーテ歌曲の最後の作品となった。D310の第2稿は、1816年4月17日にゲーテ宛に贈呈された歌曲集に含まれていた自信作である。D310に続けて「魔王」D328作曲。その後D277A, D346が第3-4楽章として作曲されたが、D346は231小節でまたも放棄された。

第1楽章は、ベートーヴェン「フルトシュタイン」「熱情」を手本に雄大に開始される。対照的に優美で線の細い第2主題自体も第1主題から派生しており、一貫性を追求した楽章。第2楽章は囁きが敷き詰められている。新たな第3楽章D277Aは誤ってD279より若い番号が与えられたが、2つの稿を比較すれば、D277Aが改訂された稿と判る。全部はほぼ同じ、トリオが差し替えられた。第4楽章D346はD279/3の後には続かない。D277Aに続く楽章である。単旋律が全音階に上昇する第1主題と軍隊行進曲風短調の第2主題が転調を繰り返す。「憧れ」「魔王」に遮られて最後の音符まで書き残されなかった。佐伯周子の補筆完成版にてお聴き頂く。

ベートーヴェンを越える決意の第14番イ短調 D784

1823.02.24「さすらい人」幻想曲作品15 D760 出版、初めての大作出版であった。その月に作曲されたのが第14番イ短調D784である。1823年までベートーヴェンはイ短調は交響曲・弦楽四重奏曲・ピアノソナタでは作曲していなかった。「ベートーヴェンを越える器楽曲作曲家になる」決意を表出した。不気味なユニゾンで始まり、トレモロを多用する第1楽章、シューベルト歌曲を思い起こさせる出だしから意表を突き激しさが噴出する第2楽章、疾走感に溢れる第3楽章。

fff←→ppp 交響曲規模のピアノソナタ 第20番イ長調 D959

時間的にも音響的にも「交響曲第8番グレート D944」に肩を並べる規模のピアノソナタである。

1827.03.26 ベートーヴェン死去

1828.03.26 シューベルト生前唯一の「シューベルト演奏会」

ベートーヴェン中期以降の弦楽四重奏曲を世界初演していたシュバンツィヒが率いる「シュバンツィヒ弦楽四重奏団」が、演奏会ではシューベルト弦楽四重奏曲第15番ト長調 D887 を演奏した。ウィーンの街が「ベートーヴェンの後継者 = シューベルト」と認めた演奏会となった。翌4月から着手し9月に清書されたのが、「遺作3大ソナタ」である。

「第2番」イ長調 D959 は、ベートーヴェンが発明した「循環ソナタ」で作曲された。第1楽章冒頭のイ長調主和音のフォルテの轟が全楽章を貫き、第4楽章コーダで思い掛けなく回帰する。

Schedule (日程未定)

第3回

ピアノソナタ第16番イ短調 D845

ピアノソナタ第8番イ長調 D664

ピアノソナタ第10番嬰ヘ短調 D571 + D570(3楽章)

第4回

ピアノソナタ第17番二長調 D850

ピアノソナタ第4番イ短調 D537

ピアノソナタ第11番口長調 D575

第5回

ピアノソナタ第18番ト長調 D894「幻想ソナタ」

ピアノソナタ第9番ホ長調 D459A + D506(4楽章)

ピアノソナタ第6番ホ短調 D566(3楽章)

第6回

ピアノソナタ第15番ハ長調 D840「レリーク」

ピアノソナタ第13番ヘ短調 D625 + D505(4楽章)

ピアノソナタ第7番変二長調 D567 + D593/2(4楽章)

第7回

「さすらい人」幻想曲ハ長調 D760

ピアノソナタ第3番ホ長調 D459 + D604(3楽章)

ピアノソナタ第5番変ホ長調 or 変イ長調 D557(3楽章)

10の変奏曲へ長調 D156(ピアノソナタ D157の初期稿)

メヌエット イ長調 D334(ピアノソナタ D157の初期稿)

メヌエット イ短調 D279/3(ピアノソナタ D279の初期稿)

スケルツォ 変口長調 D593/1(ピアノソナタ D567の初期稿)

第8回

ピアノソナタ第21番変口長調 D960「遺作」

ピアノソナタ第7番改訂稿変ホ長調 D568(4楽章)

ピアノソナタ 嬰ハ短調 D655(1楽章)

ご来場の皆さまへ

高熱のある方、体調の優れない方は入場をご遠慮ください。
施設内ではマスクの着用を、また入退場時には
手指の消毒をお願いいたします。